

# 《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和 45 年の設立以来、昨年度までの卒業生は 956 名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

## **No.73 Oくん（令和2年3月卒・機関専攻・現17歳） 海外まき網漁船**

### Q 仕事の内容は？

- ・ 1年目なので先輩に色々なことを教えてもらっています。
- ・ 洗濯やゴミ捨てなどの雑用は新人の仕事です。

### Q 大変な事は？

- ・ 日に約2回操業します。1回の操業に3～4時間かかり、自分は網とり（網の回収）をしています。大きな網を次の操業に備えて素早く、綺麗に整えなければならず、この作業に約2時間程度かかるので苦勞しています。
- ・ また、甲板員に比べて機関員は少ないため、甲板員に比べて当直の時間が長くなるのが大変です。

### Q 良い事、楽しい事は？

- ・ 自由時間にDVDを観ること。次の航海にはゲーム機を持って行きます。

### Q 学園在学中の思い出は？

- ・ 潜水講習

### Q 学園で学んだ(身に付けた)事で、現場で役立っていることは？

- ・ 刺し継ぎや網修理をする機会が頻繁にあります。学園で習ったやり方とは多少違いましたが、基本を身に付けていたので、すぐに覚えられました。船員からも「覚えがいい」と褒められました。

### Q 学園に入学・卒業して良かったと思うことは？

- ・ 学園でロープワーク等を徹底的にやったので、刺し継ぎや網修理で困ることはありません。1年間、親元を離れて、寮で生活をしたので、ホームシックになるようなことはありません。

### ☆ 在学生にアドバイス

- ・ 素直なことが一番だと思います。

（令和2年6月23日）